

## バーコード一括読み取りで ピッキング作業を劇的に改善

お客様はハンディ端末を活用したバーコード検品による自動ピッキングを既に導入していましたが、商品の多様化、人手不足の慢性化、物流2024年問題への対策など、さらなる業務改善を模索していました。

### お客様のプロフィール

会社名  
日用品物流倉庫様

業種  
物流商社

従業員数  
約1,000人

所在地  
国内数十カ所倉庫

食品飲料

倉庫

### 導入前の課題

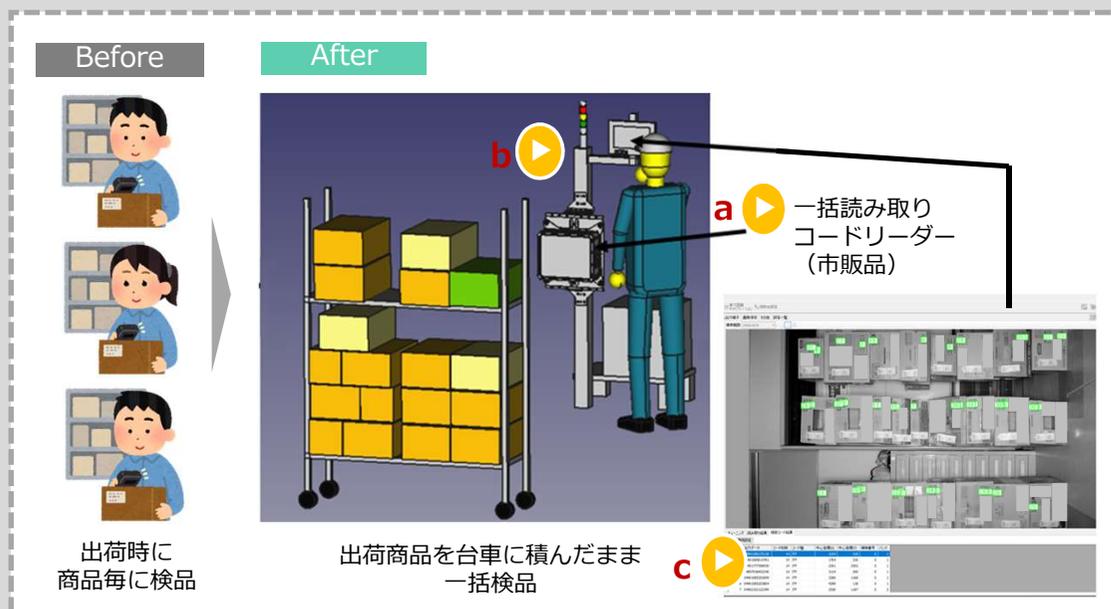
- 重い飲料商品の取り扱いが増加
- 商品多様化と人手不足でピッキング時間が増加
- 現場業務の逼迫により検品ミスが増加

### 選んだ理由

- スマート工場技術を転用した倉庫業務改善提案
- 自社固有の事情をキャッチアップしたシステム仕様
- 従来のハンディ端末を超える検品の正確性

### 導入の効果

- ハンディ端末廃止で従業員の手作業負荷が軽減
- 物流2024年問題対策の実績作りができた
- 検品ミスの撲滅により取引先からの信用も回復



個別検品から一括検品に変わり、検品ミスが根絶  
出荷作業が大幅に簡素化、人手不足対策に寄与

#### ■ ポイント

- a ▶ スマート工場の知見を活かした最適なコードリーダー選定
- b ▶ 現場の実状を考慮した専用装置の設計制作
- c ▶ 一括検品アプリケーションの開発

#### ■ 導入費用

- ハードウェア導入費 650万円 ※専用装置材料含む
- システム開発費 200万円
- 納期：約2カ月